

大島さんは、国語の時間に、「今一番好きなこと」についてスピーチをする学習に取り組んでいます。大島さんは、動画に自分のスピーチを記録し、川口さんと青木さんに見せて助言をもらっています。次の【大島さんのスピーチ】と【三人の会話の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

### 【大島さんのスピーチ】

音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。私が今、一番好きなことは楽器を演奏することです。私は音楽部に入っていて、放課後は毎日練習を頑張っています。部員の心がひとつになって、美しい演奏ができたときは、達成感でいっぱいになります。聞いている人が、自然と笑顔になれるような、そんな音楽を演奏したいと思っています。

私が音楽部に入ろうと思ったのは、小学校六年生のときです。姉の中学校の文化祭を見に行つたときに、舞台上で音楽部の人たちが演奏しているのを聞いて、かつこいいなと思いました。演奏している人と聞いている人が一体となっていると感じられる、とても楽しい時間でした。そのときから、中学校に入学したら、絶対に音楽部に入ろうと心に決めていました。

### （動画を止める）

中学校に入学して、私は迷うことなく音楽部に入りました。ところが、最初のころは全く音が出ず、楽しいはずの部活動にいくのが苦痛になってきました。周りが上手になっていくのを見ると、だんだんと不安が大きくなり、部活動を辞めようかと悩んだこともあります。

でも、そんなときにいつも心の支えになってくれる友達がいきました。先生や先輩は、なかなか上手に演奏できない私に、ていねいに教えてくれました。温かく接してくれる人たちのおかげで、私は少しずつ上達することができました。

初めての夏のコンクールでは、演奏が始まるまでの間、楽器を持つ手が震えていました。でも、いざ演奏が始まると、思っていたよりも落ち着いて演奏できました。この日までの練習を、仲間と共に一生懸命頑張ってきたからだと思います。仲間の存在は本当にありがたいです。入賞したと分かったときは、自然と涙が出ました。仲間と肩を抱き合って喜んだのを今でもはつきりと覚えています。

秋の文化祭では、たくさんの観客の前で演奏することができました。文化祭の感想に、「音

### 【三人の会話の一部】



川口 ここで動画を止めてもらえますか。「音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。」という冒頭の部分は、聞き手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりする表現にしてみようか。

大島 それから、聞いている人は、なぜ音楽部に入ろうと思ったのかを知りたいと思うので、音楽部に入るきっかけを話しているのはよいと思います。

大島 ありがとうございます。

楽部の人たちの演奏がよかった。迫力のある演奏にとっても感動した。」と書いてくれている人がたくさんいて、とてもうれしかったです。音楽は、人に感動を与えることができるのであれば、人に感動を与えたい。一年前に、自分が演奏を聞いて感動した場所で、今度は演奏する立場でいられることを幸せに感じました。

(動画を止める)

今は、とにかく演奏することが楽しくて楽しくて仕方ありません。今のこの気持ちを忘れることなく、練習に取り組みたいと思います。これからたくさんの人に、心を動かす美しい音楽を届けたいと思います。

(動画を止める)

大島

具体的な体験を入れてみましたが、どうでしょうか。

青木

体験が入っているのはよいですね。ただ、コンクールと文化祭のエピソードのうち、<sup>②</sup>今回の大島さんのスピーチには、文化祭のエピソードだけでよいのではないのでしょうか。

川口

大島さんが伝えたい内容は分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているので、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話し方を工夫してみてもどうでしょうか。例えば、「聞いている人が、自然と笑顔になれるような、そんな音楽を演奏したい」と思っています。」という部分は、大島さんが伝えたい内容だと思うので、声を大きくするとよいのではないのでしょうか。<sup>③</sup>

大島

なるほど。他の部分も話し方を工夫してみます。

話し方の工夫については、小学校三、四年生で「相手を見て話すこと」「言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと」を学習しています。  
さらに、中学一年生では、「相手の反応を踏まえながら話すこと」、二年生では、「資料や機器を用いるなどして話すこと」、三年生では、「場の状況に応じて言葉を選ぶなどして話すこと」など、さまざまな工夫があることを学習します。  
スピーチで話し方を工夫する際には、まず、スピーチの目的を確認し、自分が最も伝えたいことを明らかにしたうえで、工夫すべき部分と具体的な工夫を考えるようにしましょう。





## 問題について

「話すこと・聞くこと」自分の考えが分かりやすく伝わるように、工夫して話す問題（スピーチをする）

スピーチなどを行う際には、話し手は、自分の伝えたいことを聞き手に分かりやすく伝えるために、場の状況や聞き手の興味・関心、情報量などを考慮しながら、聞き手に応じた語句を選択したり、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣いなどに注意したりして話すことが大切です。また、聞き手のうなずきや表情にも注意し、話の受け止め方や理解の状況を捉え、聞き手に自分の考えが十分伝わっていないと感じられたときには、分かりやすい語句に言い換えたり内容を補足したりすることも重要です。聞き手は、話の展開に注意しながら内容を聞き取り、互いの考えを比較したり、聞き取った内容や表現の仕方を評価したりすることが大切です。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

## 解答

11

1 (例1) 皆さん、音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。  
(例2) 音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。皆さんもそう  
思いませんか。

2 仲間

3 (例1) 「音楽は、人に感動を与えることができるかとあらためて思いました。」という  
部分が「一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。」

(例2) 「音楽は、人に感動を与えることができるかとあらためて思いました。」の部分  
の印象を強めるために、聞いている人たちを見渡しながらか話す。

(例3) 「これからもたくさんの人に、心を動かす美しい音楽を届けたいと思います。」  
という部分の語調を強めて、伝えたい思いを強調したい。

※解答する際の三つのポイントを確認しよう！

・【大島さんのスピーチ】の中から、「聞いている人が、自然と笑顔になれる  
ような、そんな音楽を演奏したいと思っています。」という部分以外を具  
体的に取り上げて書く（——部分）

・取り上げた部分をどのように工夫して話すのかについて、具体的に書く  
（~~~~部分）

工夫とは、①言葉の抑揚や強弱、間の取り方など音声での表現の仕方に着目  
した工夫

②視線の方向など、①以外の話し方の工夫

・取り上げた部分について、工夫して話す意図（どうしてそのように工夫するの  
か）を書く（——部分）

「令和五年度 徳島県学力ステップアップテスト問題（第二学年）」より作成